



石の枕

<キリスト教小咄>

その一。詩人ガルパーニが友人ハイドンに「いったい、君の宗教音楽はどうしてあんなに快活で、ユーモアたっぷり、軽やかなのかね」とたずねた。これは「ハイドンのミサ曲はあまりに陽性で明かるすぎる」との批判を心配してのことだった。

ハイドンは答えて言った。「僕にはそうしかできないのだよ。自分が持っているものをそのまま出すのさ。神のことを考えると僕の心は喜びで一杯になり、音符がまるで糸巻きから糸が出るように流れ出るわけだ。神は僕に楽しい心を授けてくださったのだから、僕が楽しく神様に仕えても許してくださるだろうよ。」

ハイドンは、14のミサ曲を作ったがほとんどすべてが長調で短調は一曲のみであった。

その二。忙しいセールスマンが駐車禁止区域に車を止め、フロントガラスのところに走り書きを残して立ち去った。

「この辺りを20回も回りました。駐車する所がありません。もう時間がなくなりました。約束があり、守らなければ、仕事を失うこととなります。『我らの罪を赦したまえ』」

しばらくして帰ってくると、警官からの駐車違反切符と走り書きが残してあった。「この辺りを20回も回っています。違反切符を切らないと、仕事を失うこととなります。『われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ、アーメン』」

その三。教会で一人の教授が寛容の美德について講演をしていた。聴衆はその論旨に魅せられて熱狂的に講演を支持するようになっていた。

そこへ突然、聴衆の一人が立ち上がり、自分はこの説に反対である。大切なのは不寛容であると論じはじめた。興奮した聴衆はそれを聞いて怒り出し、とうとうこの反対論者を袋叩きにし、遂には場外へ放り出してしまったという。(フランスの自由思想家サント・ブーヴが伝えた物語)

*この原稿は、3日の礼拝後に書いている。外は大雪。すばらしい礼拝であった。

* 次回は、アメリカの土産話をご期待下さい。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:マルコ1章~5章 Bコース:レビ記24章~民数記10章

確かに、この世では苦難と悲しみが山ほどあります。しかし、元氣を出さない。わたしはすでに世に勝ったのです。」

(ヨハネ十六の三十三~三十八)

司会	沼田兄	竹中兄	滝山兄
奏楽			
祈禱	倉知兄	多田兄	
賛美	聖歌462番 (主イエスをほめよ)		
十戒	(出エジプト記20章1~17節)		
聖書	ヨハネによる福音書16章29節~33節		
音楽	PKバンド 宮田四郎兄		
メッセージ	「イエス様信じて良かったなあ」 倉知 契副牧師 (「井の中の蛙、大海を知らず、されど、空の高さを知る」 大川 従道牧師)		
賛美	聖歌701番 (献金)		
主の祈り			
祝禱			

【大和ニュース】

- ・ 受洗おめでとう。 広瀬香菜子姉(学生会) 祝福を祈ります。
- ・ 本日、入門、囲碁、送迎奉仕会、SS教師会、VIP日吉、ルツコスモス会あり。
- ・ 「J. PLUS」は2時~3時。説教は梶山先生。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！ 水曜夜と木曜朝。説教は大川牧師と河師(V)。
- ・ 福音礼拝は、火曜のCBSに合流。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時~10時半。説教は大野補教師 (土曜早天はありません)
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時。説教はW. Cordeiro師(字幕あり)。
- ・ 今週21日は沼田俊子姉の誕生日。お書きくださったカードは牧師が届けます。
- ・ CGNTV「カルバリーチャペルアワー」は、3月2日からスタート。毎週日曜夜7時。